

第六次天童市総合計画

施策検証報告書

平成28年12月

天童市

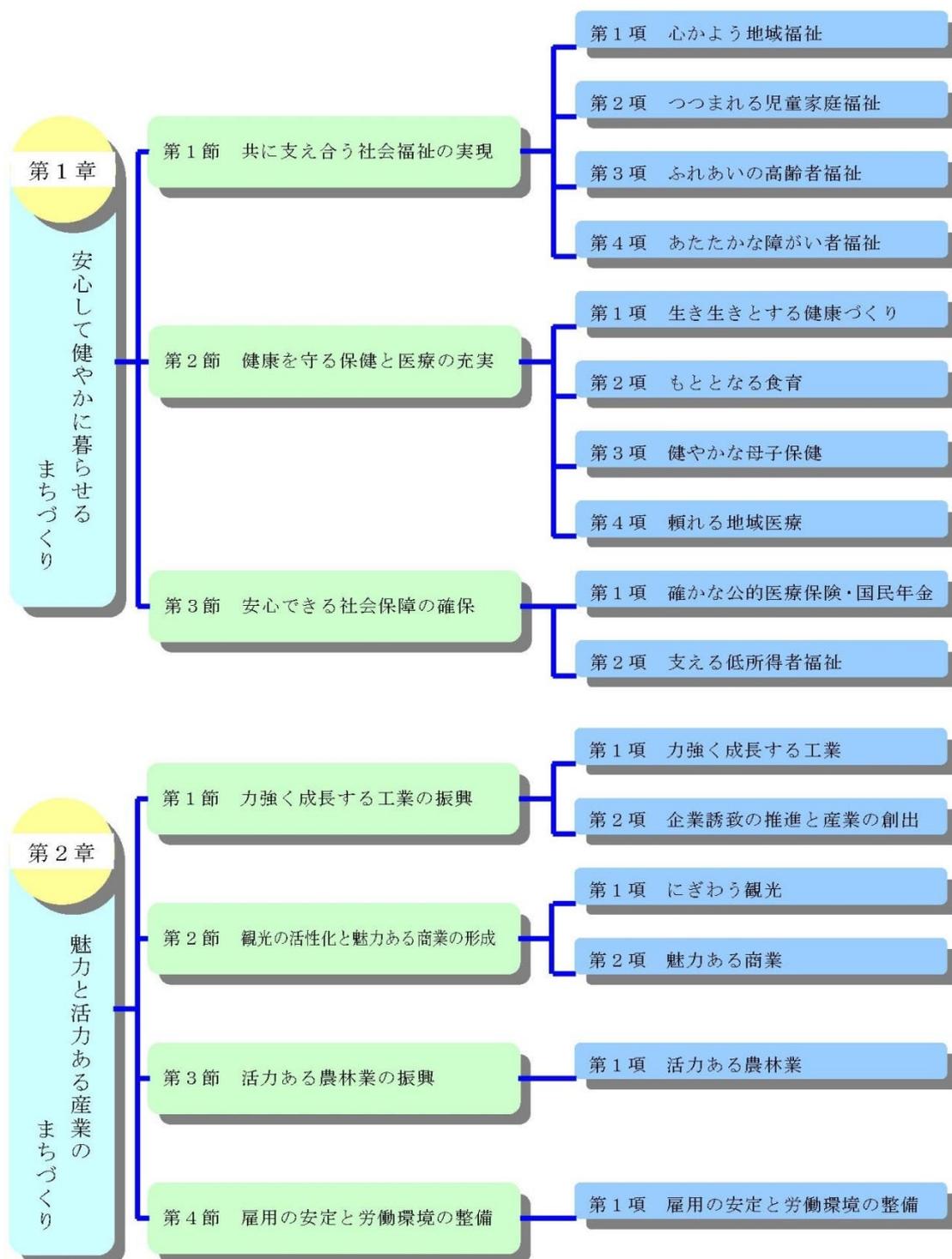
第六次天童市総合計画検証報告

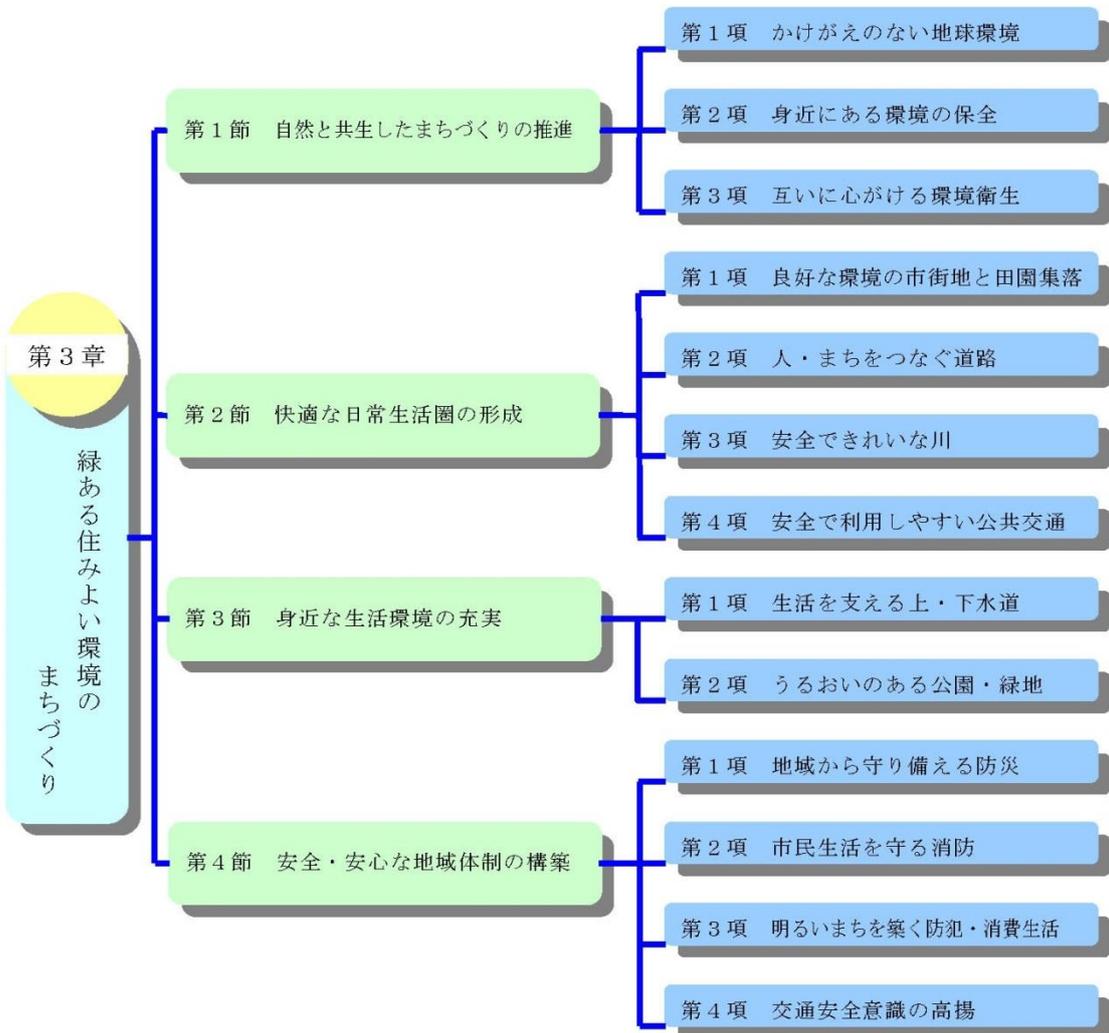
1 第六次天童市総合計画

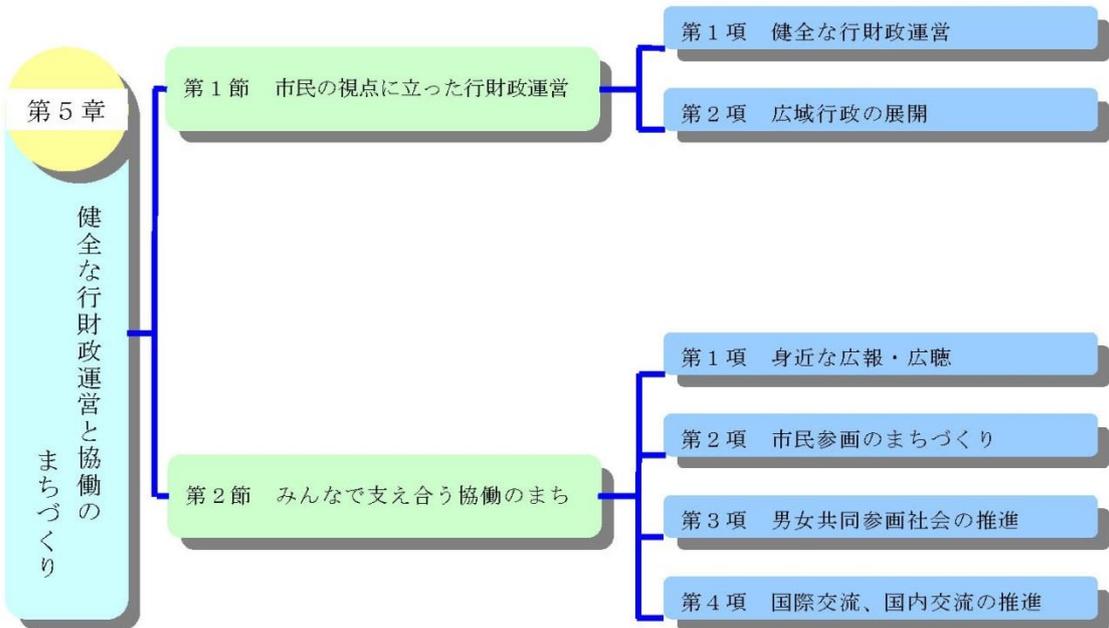
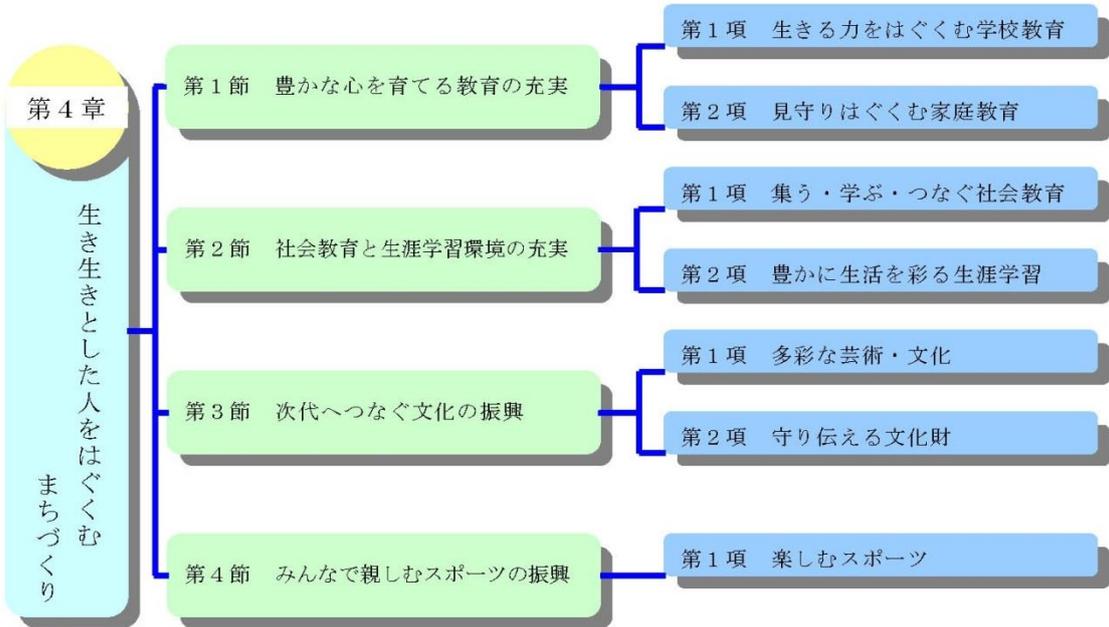
第六次天童市総合計画は、“笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市”を市の将来像とし、その実現に向けて5つのまちづくりの目標を掲げ実行してきました。

計画期間を平成22年度から平成28年度の7年間と定め、中間年度に当たる平成25年度には、市を取り巻く状況の変化等に対応するため見直しを図りながら第六次天童市総合計画未来創造重点プロジェクトの後期計画を策定しています。

2 第六次天童市総合計画基本計画施策の体系図







3 社会情勢等の変化

(1) 人口減少社会

日本の総人口が平成17年に初めて減少に転じて以来、人口減少の傾向は依然として続いています。

本市においては、近年出生数に改善が見られるものの、死亡数が出生数を上回る自然減の状況が続いています。一方、社会増減については、転入が転出を若干上回っていますが、自然減の影響が大きく、全体としてはわずかに減少しています。

(2) 安全・安心

平成23年に東日本大震災、平成26年に御嶽山の水蒸気爆発、平成28年に熊本地震、その他近年多発する台風や豪雨など、自然災害への不安が急速に高まっています。

本市においては、東日本大震災時においても大規模な被害は発生していませんが、平成25年に大雨による土砂崩れを原因とした市内全域断水に見舞われ、予期せぬ災害に対する備えの重要性を再認識しています。

(3) 地域経済

地域経済は少しずつ上向きの傾向が見られるようになりましたが、税収が伸び悩んでおり、景気が回復したとは言えない状況です。そのような中、地方交付税や補助金、交付金なども減少してきており、自治体経営は一層厳しさを増しています。

4 取組みの概要

第1章 安心して健やかに暮らせるまちづくり

福祉の分野は全体的に市民満足度・重要度アンケート調査（以下「アンケート調査」という。）において高い評価を得ています。特に子育ての分野に対する評価が高く、中学3年生までの医療費無料化や第3子以降保育料無料化、子育て未来館「げんキッズ」の整備などの子育て中の親を支援する施策が高い評価につながったものと考えられます。

健康の面では、生活習慣病の予防や健康マイレージ事業などの健康づくりに関する施策を行い、健康の保持と医療費の適正化という課題に継続的に取り組んできています。

医療の面では、地域医療に対するアンケート調査の重要度が高く、診療体制や救急も含めた医療体制の充実が求められているため、地域医療ネットワークの形成などに取り組み、多様化する需要に対応してきています。

第2章 魅力と活力ある産業のまちづくり

農業の面では、農業従事者の高齢化や後継者不足という課題があります

が、担い手となる認定農業者の確保と育成に取り組み、認定農業者数は増加しています。

荒谷西工業団地や天童インター産業団地を新たに整備し、産業の活性化や雇用の増加に取り組んできています。分譲は順調に進んでおり、その波及効果が期待されているところです。

商業の面では、中心市街地商店街活性化のためのまちなかゼミナールや軽トラ市 IN 天童などの商店街独自の取り組みを支援してきています。

観光の面では、アジアを中心としたインバウンドの推進や隣接する自治体と連携した圏域レベルでの観光地づくりにより誘客の促進に取り組んできています。

第3章 緑ある住みよい環境のまちづくり

環境衛生の面では、プラスチック製容器包装類の分別回収、廃棄物再資源化のための拠点回収、使用済小型家電回収事業などを実施し、アンケート調査の満足度は一定して高い評価を得ています。

まちづくりの面では、芳賀土地地区画整理事業による大規模開発や県住宅供給公社との連携によるミニ団地開発などにより、優良住宅地の供給に取り組んできています。また、幹線道路や生活道路の整備を進める一方、橋梁については長寿命化修繕計画を策定し計画的に修繕を行っています。

公共交通の面では、市営バスに代わり予約制乗合タクシーの運行を開始し、区域乗合型と路線乗合型の運行形態を組み合わせ、より市民にとって利便性の高い公共交通を目指し改善を進めています。

公園・緑地の面では、天童公園と愛宕沼親水空間の大規模改修、天童高原の地域交流センターとキャンプ場周辺の整備を進め、市民の憩いの場の充実や新たな観光スポットの創出に取り組んできています。

防災については、東日本大震災以降急速に関心が高まり、地域防災力強化のために避難場所案内表示板の整備や食料の備蓄、自主防災連絡会の組織化などを進め、ほぼ目標値を達成しています。

消防・救急の面では、消防救急デジタル無線の整備を図るなどして消防力の強化と救急業務の円滑化を進め、アンケート調査では安定して高い評価を得ています。

第4章 生き生きとした人をはぐくむまちづくり

学校教育の面では、各学校の特色を生かした授業改善を進め、質の高い授業が行われるよう教員の指導力向上を図るとともに、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた適切な指導と支援ができるよう巡回相談や支援員の配置等を行ってきています。また、学校施設の耐震化や空調設備の充実を計

画的に進めています。

社会教育の面では、地域における活動や特色ある地域づくり活動への支援を行い、活動の拠点となる市立公民館の全面改築を進めてきています。

芸術・文化の面では、市民による芸術文化活動を支援し活性化を図るとともに、天童古城をはじめとする文化財の発掘調査や保護を実施してきています。

スポーツの面では、ジュニア層の育成・強化を継続して図り、全国レベルの上位大会への出場者が増加しています。また、天童ラ・フランスマラソン大会に代表されるスポーツイベントは、全国から参加者の増加が見られます。

第5章 健全な行財政運営と協働のまちづくり

行財政運営の面では、ふるさと納税の寄附額が全国トップレベルにあり、地場産業の振興と本市の知名度の向上に寄与しています。また、行財政改革を進めて事務の効率化やスリム化を図り、健全な財政運営を続けてきています。

協働のまちづくりの面では、地域いきいき講座の利用回数や参加者が目標値を大きく上回り、市民と行政の協働のまちづくりが進んできています。また、海外の姉妹友好都市や国内都市との交流では、市民レベルでの交流が続けられ、近年では国内都市と災害時相互応援協定を締結し交流の幅に広がりを見せています。

5 第六次天童市総合計画の総合的な評価

第六次天童市総合計画の最終年度に当たりアンケート調査を行った中では、子育て支援や母子保健に関する評価が高く、若い世代の子育て環境は確実に充実してきたと言えます。また、その他の各種施策には極端に満足度の低いものもなく、順調に施策を実行できたと評価できます。

しかしながら、アンケート調査の結果を大きく見てみると、福祉、産業、雇用、道路（除雪を含む）、公共交通などの分野の評価が比較的低い傾向にあることが分かります。

そのため、アンケート結果やこの度の第六次天童市総合計画の施策評価で得た結果を基に今後の施策の方向付けを行い、課題等の克服に向け継続した取組を行っていきます。

6 第七次天童市総合計画に向けて

検証で得られた結果を基に、その課題解決と新しい時代に向けた積極的な施策を展開し、将来とも安心して住み続けられる天童市の実現を目指していきます。